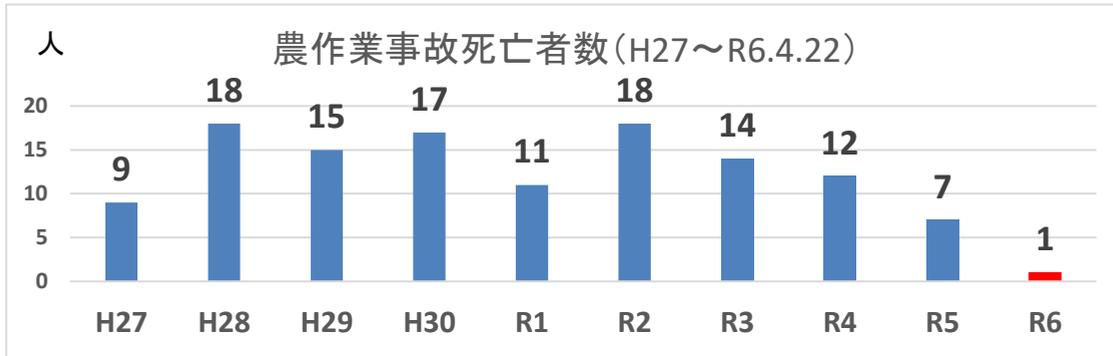


長野県における農作業事故の実態

令和6年4月22日
長野県農政部農村振興課

1 農作業死亡事故の発生数の推移と機種別割合

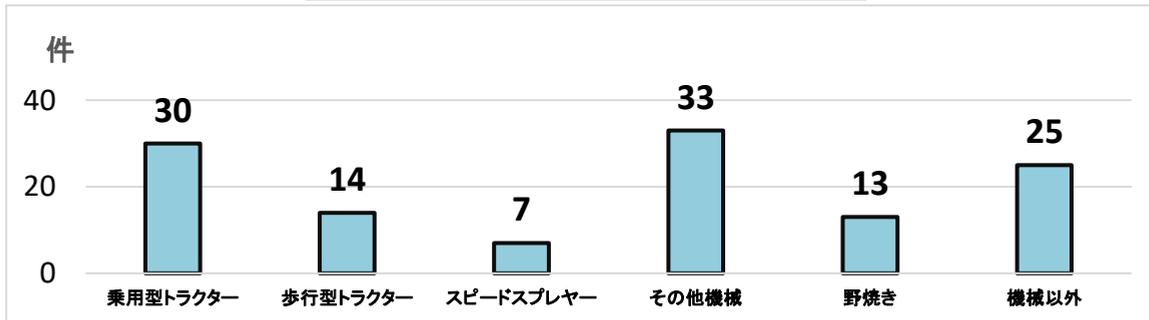


平成27年から令和6年4月22日までの死亡者の総計は122人（上記グラフ参照）
10年間で平均すると12.2人

死亡事故は乗用型・歩行型トラクターによるものが多い

※死亡事故は、当事者が事故発生から24時間以内に亡くなった場合の件数。

機種別発生数 (H27～R6.4.22)

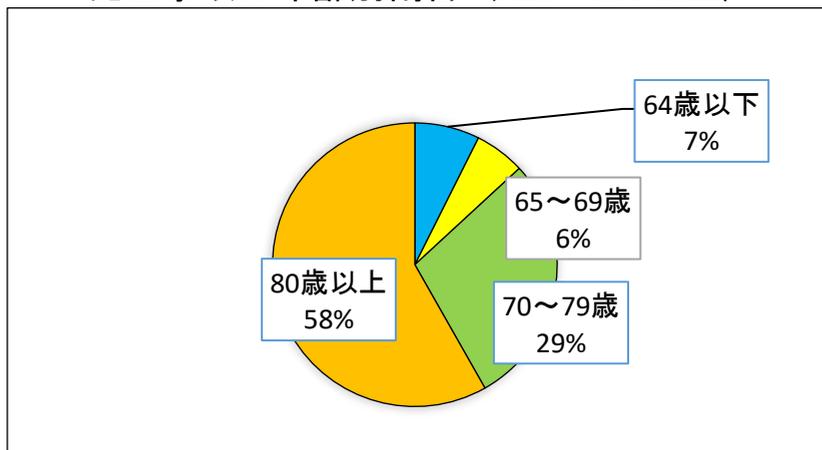


- ① 犠牲者が最も多いのは乗用型トラクター
- ② その他機械では乗用型草刈機（11件）、機械以外では熱中症（10件）が多い
- ③ 乗用型トラクターによる死亡事故はR 5 で 2 件、R 6 でも既に 1 件発生

2 年齢別死亡事故発生状況

農作業死亡事故の93%は65歳以上の農業者

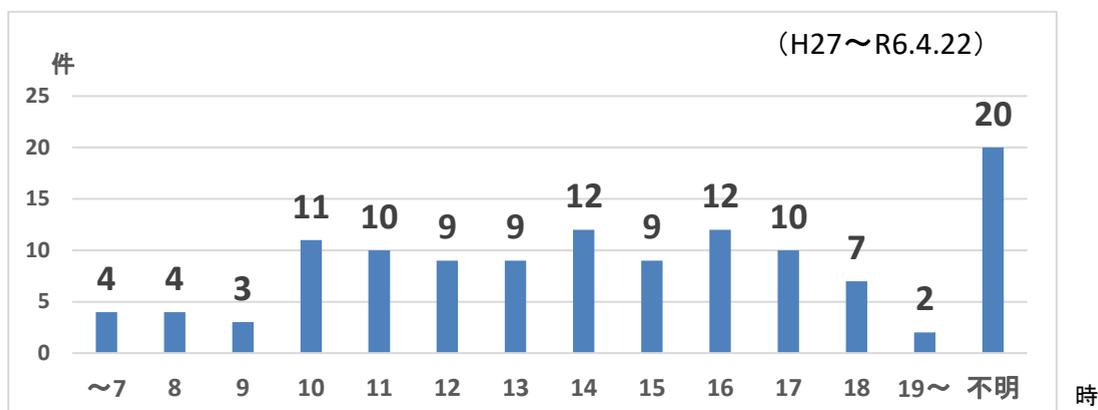
死亡事故の年齢別割合 (H27～R6.4.22)



- ① 農作業事故死亡者の年齢は、年々高齢化している。
- ② 主な原因として、運動能力・反射神経の低下が考えられる。

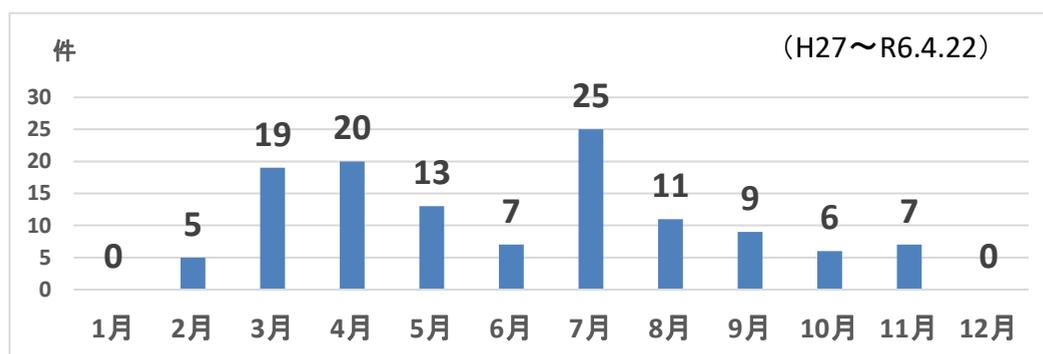
3 時間別農作業死亡事故発生状況

農作業事故が多い時間 午前10時～午後5時
疲労のピークが危険時間帯（特に午後）



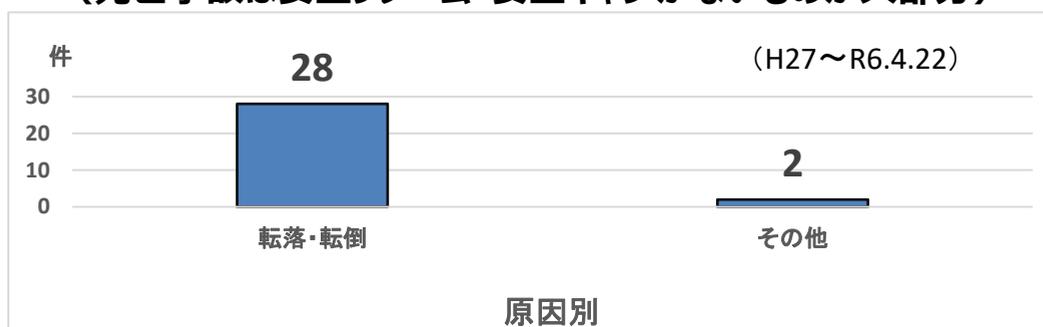
4 月別農作業死亡事故発生状況

機械を使用し始める3月～5月が多く、7月や秋の収穫期にも多い。



5 トラクター死亡事故の原因別発生状況

乗用型トラクターの死亡事故は、そのほとんどが転落・転倒事故
（死亡事故は安全フレーム・安全キャブがないものが大部分）



歩行型トラクターは挟まれ、まきこまれ事故が多い
（まきこまれは重傷事故で多発 R4:2件、R5:4件、R6:2件）

